

2025年7月23日

再生医療等製品の製造受託拡大に向けた事業基盤の強化 **再生医療 CDMO に関する補助金に採択**

帝人株式会社
株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング
帝人リジェネット株式会社

帝人株式会社（本社：大阪市北区、社長：内川 哲茂）において再生医療事業を展開する、株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング（本社：愛知県蒲郡市、社長：山田 一登、以下 J-TEC）および帝人リジェネット株式会社（本社：東京都千代田区、社長：田中 泰至）はこのたび、経済産業省が実施する「再生 CDMO 補助金」(*1)に共同で採択されました。

今後、両社はこの支援をもとに、両社が連携して展開する再生医療 CDMO(*2)事業に関する施設および設備の拡張や、人材育成の仕組み構築などに向けた数十億円規模の投資を2027年までに実行し、国内外からの再生医療等製品の受託数増加に向けた事業基盤の強化を推進していきます。

(*1) 正式名称「令和6年度補正再生・細胞医療・遺伝子治療製造設備支援事業費補助金」

(*2) 再生医療に関する開発製造受託機関

1. 背景・経緯

- (1) 「再生 CDMO 補助金」は、我が国に優れた研究成果があり、今後の市場拡大が見込まれる再生・細胞医療・遺伝子治療製品に関する CDMO 事業を日本の輸出産業とするため、受託製造拠点の整備、自動化装置や品質管理システムの導入に加え、国内で不足している製造人材の育成を経済産業省が支援する事業です。
- (2) 帝人は、2021年に日本の再生医療のパイオニアである J-TEC をグループ会社として迎えることで再生医療事業に参入しました。2023年には再生医療 CDMO を専業とする帝人リジェネットを設立し、再生医療等製品の製造販売事業と再生医療 CDMO 事業を両輪として事業拡大を図っています。
- (3) 再生医療 CDMO 事業としては、帝人リジェネットの CDO 拠点「柏の葉ファシリティ（千葉県柏市）」および CMO 拠点「岩国ファクトリー（山口県岩国市）」、国内最多の上市実績を有する J-TEC 本社拠点という各拠点の密な連携に加え、再生医療等製品の上市に必要なサービスをワンストップで提供可能な、国内外の企業およびアカデミアとの連携体制を強みとして、国内外から広く受託案件を獲得しています。
- (4) 両社は、それぞれが有する事業基盤を強化し、さらなる連携を図ることによって、今回の支援事業が目指す「創薬力の強化」および「受託産業の輸出産業化」に大きな役割を果たすことが出来ると考え、「再生医療 CDMO 事業における新たなビジネスモデルの創出」の事業計画をもって応募し、このたび採択されるに至りました。

2. 補助金を活用した事業基盤の強化について

このたび採択された補助金をもとに、以下のような製造拠点の拡張や生産性の向上、高度人材に関する取り組みを実施し、再生医療 CDMO 事業の受託キャパシティの拡大と、海外からの開発案件の受託体制を強化します。

- J-TEC は、2027 年度までに、研究施設の一部を再生医療等製品の製造や品質管理に関する国の基準（GCTP）に準拠した製造施設として改築します。さらに、製造や品質管理の工程に AI を導入することで設備の自動化やスキルレス化を図ります。
- 帝人リジェネットは、現在運用中の「柏の葉ファシリティ」では実験室の増設、現在拡張工事中の「岩国ファクトリー」では細胞加工設備（CPC）（*3）および実験室を増設します。
- また、製造や品質管理に関わる人材不足の解消と、海外案件にも対応可能な高度な人材育成のために、J-TEC および帝人リジェネットが、作業者の属人性から脱却する高水準な人材教育プログラムの作成と、人材教育に関する場を整備します。

（*3）CPC：Cell Processing Center の略。再生医療や細胞治療に用いる細胞を培養・加工する専用のクリーンルームを備えた施設。

帝人は、J-TEC および帝人リジェネットの事業基盤拡大と連携強化を通じて国内外の開発案件を獲得し、2030 年度における再生医療事業の売上高目標 200 億円の達成を目指していきます。



J-TEC 本社（蒲郡市）



帝人リジェネット「岩国ファクトリー」（岩国市）

以 上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 [TEL: \(03\) 3506-4055](tel:0335064055)
株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング 経営管理部 TEL: 0533-66-2020